

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る文化イベント自粛要請に関する 緊急決議

文化芸術振興議員連盟
会長 河村建夫
令和2年3月23日

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として出された、「全国的なスポーツ・文化イベントの中止・延期又は規模縮小」の要請に対しては、国民の健康・安全を第一と考え、文化芸術界を挙げて協力を行った。爆発的な感染拡大には進んでいない一方、先の見えない現状は、経済的打撃を負った文化芸術活動に携わる実演家やスタッフ、企業・団体にとって、危機的な状況となっている。

事態が収束に向かう中では、人々が平穏な生活を取り戻すため文化芸術の果たす役割は大きく、我が国の豊かな文化芸術活動を存続させるため、以下、緊急に提言する。

- 一 政府の要請に応じ、中止、延期、縮小をせざるを得なかった文化芸術イベントについて、事業者の損害に対して、適切な補填・補償、迅速な無利子融資、雇用調整助成金の柔軟運用、キャンセル補償等の救済策を講じるとともに、フリーランスが多くを占めるアーティストやスタッフ等は生活が成り立たない状況にあるため、生じた経済的損失の補填・支援についても緊急に行うこと。
- 一 3月20日には文化・芸術施設については「適切にリスク判断をした上で感染拡大のリスクの低い活動から実施」を地域の判断で行うとの方針が出されたが、文化芸術イベントや文化施設等での感染拡大防止方策、再開についての基準について、専門の見地から政府として責任を持って表明すること。また再開にあたっての感染防止対策についての支援を行うとともに、安全性について国民の理解を促すこと。
- 一 休館せざるを得なかった劇場やホール、美術館、博物館等の施設について、キャンセル等によって生じた損害を補填するとともに、人々が安全、安心して文化芸術を楽しむ場として、また、観光等の観点でも地域経済の支えとなるよう、施設の円滑な再開に際して、感染拡大防止方策や国内外への発信等に必要な支援を行うこと。
- 一 文化芸術の円滑な活動持続のため、救済・支援の統一的な窓口を迅速設置し、文化庁がその中心的な役割を果たすこと。
- 一 今回の自粛要請によって落ち込んだ国民の文化芸術活動に関して、子供たちの芸術体験機会をはじめ、配信など新たに文化芸術を楽しむ方策も含めて国民が文化芸術に触れる機会、鑑賞機会の拡大とともに、日本の文化財、文化芸術を国内外に発信する強力な方策を打ち出すこと。

以上、政府はこの未曾有の危機に対処するため、「文化芸術復興基金（仮称）」設置を含めた前例に囚われることのないしっかりした予算措置と、短期・中期・長期を見据えた文化芸術振興のための力強い総合政策を実施することを求めここに決議する。